

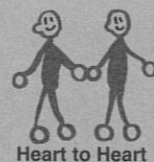
ともしび通信

コープともしびボランティア振興財団

〒658-0084 兵庫県神戸市東灘区甲南町2丁目1番20号(コープリビング甲南2階)

TEL078-412-3930 FAX078-412-3871

発行人=竹本 成徳 編集人=秦 正雄



Heart to Heart

第46号

2006年1月発行

2005年度ボランティアコーディネーター研修開催

「コーディネーターをする醍醐味」を 味わう研修が大好評

ボランティアコーディネーターは、活動支援のキーパーソンという考えから、当財団ではその育成にも力を注いでいます。今年度は「コーディネーターすることで地域が変わっていく醍醐味」を味わっていただくことを目標に、ひょうごボランティアプラザで2回にわたって開催しました(共催:兵庫県社協、神戸市社協、コープこうべ)。

第1回の11月4日(金)の講師は、筒井のり子氏(日本ボランティアコーディネーター協会代表理事、龍谷大学教授)。基礎理論と講師自身の経験談も交えたお話で、コーディネーターの面



筒井のり子氏の講義にひきつけられました

白さがじかに伝わってくる内容でした。また、ボランティアコーディネーターは「どんな社会をめざすのか」につながる仕事である、という背景が伸びるようなお話もいただきました。

午後には、複数のケース事例をもとに「何が問題なのか」をグループで考えるワークを実施。さらに「ボランティアしたい事例」「ボランティアの応援を求めている人からの事例」についてのロールプレイングも行いました。最後に非常に素晴らしいコーディネーター役とのやりとりがあり、感動的一幕も見られました。

第2回は11月18日(金)。午前中は震災後から活発なまちづくり活動を展開しておられる城戸秀則氏(神戸市中央区・大日通周辺地区まちづくりを考える会会長)。「他団体と連携するときには相手のルールを守る」「力のある人をあてにすると、ドアは簡単に開くがすぐに閉まってしまふ。時間はかかるが自力で熱意をもって思いを伝えるとい

う「王道」をいく」「コーディネーターは自分自身が楽しんでやるのが大事」等々、苦勞を重ねられた実体験からのエッセンスがたくさんあり、受講生の心を打ちました。

最終回には、当財団の助成グループでもあった拡大写本「はなみずき」のメンバーや、企業の社会貢献活動として無償でカラーコピーの支援をされている富士ゼロックス関西支社の尾崎実さんにも来ていただき、活動への思いや、企業姿勢、支援の実態などをお聞きしました。

午後には、山口一史氏(特ひょうご・まち・くらし研究所常務理事)のファシリテートで、午前の講義を題材にしたワークと、相談事例をボランティアプログラムにしていくワークを実施。議論が白熱し、時間が足りないほど盛り上がりました。山口氏からプレゼンのしかたについてもわかりやすいアドバイスがあり、受講生の満足度はさらにアップ。

「拡大写本ボランティア養成講座」を開催

実習中心の熱心な講座、 そしてボランティア活動への第一歩

拡大写本は、弱視の人たちのために本などを拡大して製本まで行うもので、兵庫県を中心に活動と指導をしてこられた山田五月氏(小林聖心母の会・たんぼぼ会代表)を講師に開催しました(10月6日~11月11日間の計5回)。活動の意義や必要性、

講師ご自身のボランティア活動への思いを語っていただき、「ボランティアすることで自己管理できるようにするし、主婦であると同時に、社会で誰かのために役立つ人間でもありたいと思う」というお話は共感を呼びました。

実際にボランティア活動をしたいという方が過半数を占め、山田先生の指導を受けながら、06年1月から少しずつ活動を始



第2回から実習。ひらがなの書き方、実際の教科書のカラーコピーを使っているレイアウトから製本の作業は、みなさん真剣そのもの

めていくことになりました。